

薬剤費の膨張にブレーキ －2000～2017年度における概算医療費と薬剤費の推移－

2018年11月15日

全国保険医団体連合会

2017年度の概算医療費は42.2兆円で、過去最高を記録した。2000年度からの17年間で比較すると、総額で年間12.8兆円増加したことになる。膨張する医療費の要因はどこにあるのか。厚生労働省が公表している概算医療費データベース（メディアス）の制度別医療機関種別医療費と社会医療診療行為別統計（e-stat）をもとに、2000年度から2017年度までの概算医療費の推移を薬剤費の動向を中心に分析した。

2000年度からの医療費の伸びを施設別にみると、調剤薬局は対前年度で初めての減少となった2016年度から、2017年度は増加に転じたが伸びは鈍化した。病院は2009年度より伸びが急峻となり、引き続き高い伸び率を維持している。診療所は緩やかな伸びを示している。歯科は2010年度から微増を続けている。

入院外医療費（病院、診療所の外来＋調剤薬局）は8兆円増加している。伸びの50％は薬剤費の4兆円であり、調剤薬局技術料等の1兆円と合わせると5兆円となり、8兆円のうち5兆円が薬剤関係によって占められる。

入院外医療費をレセプト1件当たりで見ると、対2000年度比で診療所（▲14.5％）、歯科（▲19.3％）と大幅に減少している。一方、天井知らずの伸びを示していたがレセプト1件当たりの薬剤料は対2000年度比で55.4％と高い伸びを示したが、過去最高を記録した2015年度の59.1％には及ばず、伸びの鈍化が認められた。

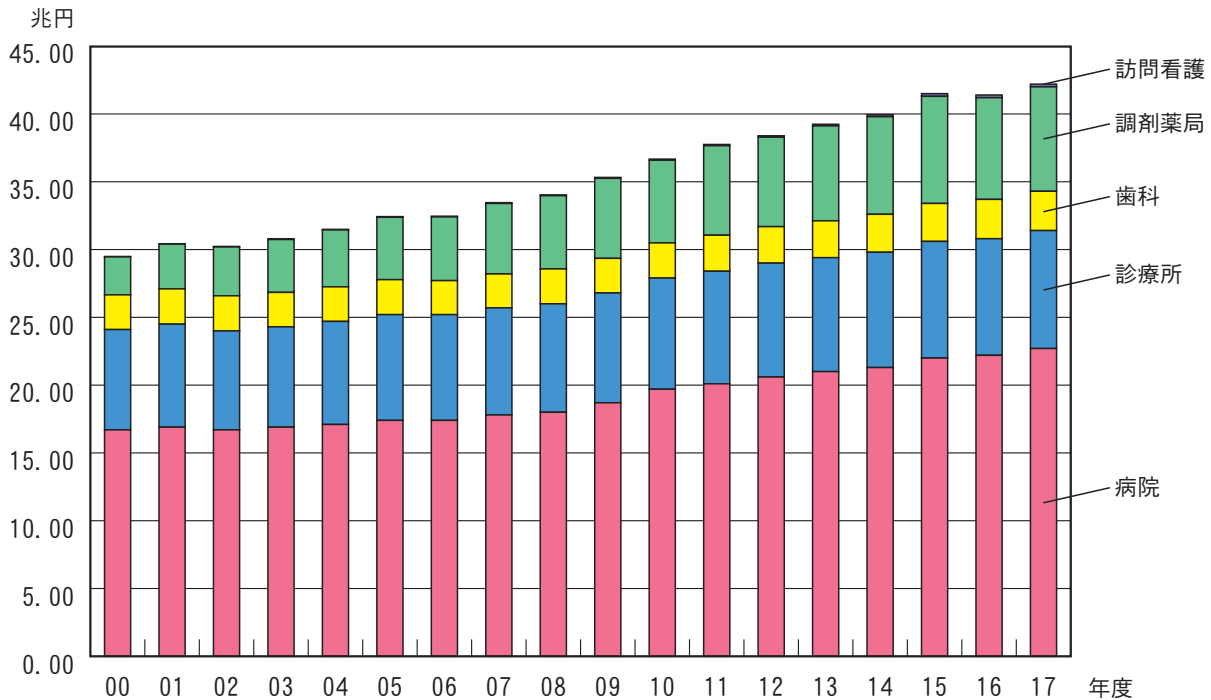
2016年度の入院の薬剤費は0.55兆円で包括医療の拡大により出来高部分が見かけ上減少している。入院外の薬剤費の内訳は外来3.07兆円、調剤薬局5.75兆円である。薬剤費全体で9.37兆円となり、対前年度比0.22兆円増加した。特定保険医療材料は年々増加し、2011年には1兆円を突破し、2017年度は1.23兆円となった。薬剤費と特定医療材料費をあわせると10.6兆円となる。

2017年度は非改定年度で薬剤費は増加したが、伸びに鈍化がみられる。これは高薬価薬剤等の薬価に引き下げに代表される薬価制度改革の影響と考えられる。しかし、経年的にみると医療費の伸びに占める薬剤費の比率は依然として高い。

当会は日本の高薬価構造が是正され、その財源が技術料引き上げや患者負担軽減に振り向けられ、国民医療の改善が図られることを引き続き求めるものである。

以上

概算医療費の推移(2000～2017年度)



単位：兆円

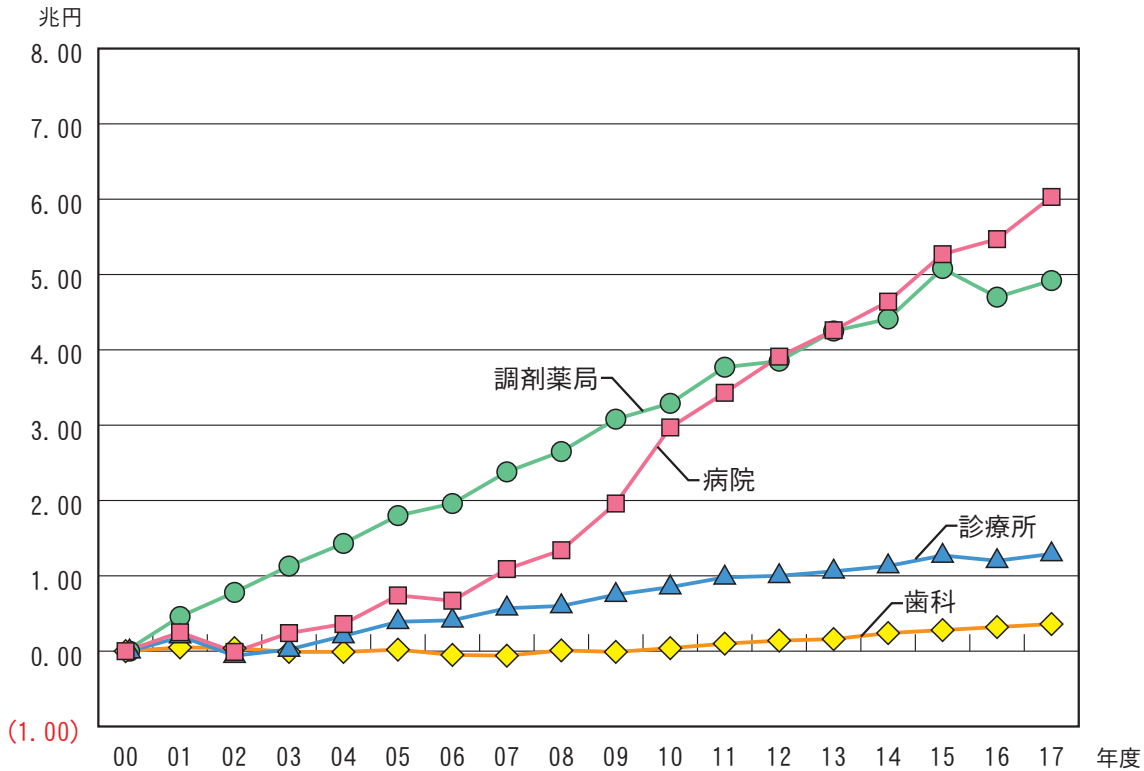
年度	病 院			診療所			歯科	調剤薬局	訪問看護	概算医療費
	入院	外来	合計	入院	外来	合計				
2000	11.71	4.98	16.69	0.44	6.92	7.36	2.56	2.79	0.03	29.4
2001	11.94	5.01	16.94	0.43	7.13	7.56	2.60	3.25	0.03	30.4
2002	11.92	4.77	16.69	0.40	6.89	7.29	2.59	3.57	0.04	30.2
2003	12.17	4.77	16.94	0.40	6.98	7.38	2.54	3.92	0.04	30.8
2004	12.33	4.72	17.05	0.39	7.17	7.56	2.55	4.23	0.04	31.4
2005	12.61	4.82	17.43	0.39	7.36	7.75	2.58	4.59	0.05	32.4
2006	12.62	4.75	17.37	0.38	7.40	7.77	2.51	4.75	0.05	32.4
2007	12.98	4.80	17.78	0.37	7.56	7.93	2.50	5.17	0.06	33.4
2008	13.23	4.80	18.03	0.38	7.58	7.95	2.57	5.44	0.06	34.1
2009	13.66	4.99	18.66	0.37	7.74	8.11	2.55	5.87	0.07	35.3
2010	14.52	5.14	19.66	0.38	7.82	8.20	2.59	6.08	0.08	36.6
2011	14.84	5.29	20.12	0.37	7.96	8.34	2.66	6.56	0.09	37.8
2012	15.21	5.39	20.60	0.37	7.99	8.36	2.69	6.64	0.10	38.4
2013	15.42	5.54	20.96	0.36	8.07	8.42	2.72	7.04	0.12	39.3
2014	15.69	5.64	21.33	0.35	8.13	8.49	2.80	7.20	0.14	40.0
2015	16.01	5.95	21.96	0.34	8.29	8.63	2.83	7.87	0.16	41.5
2016	16.21	5.96	22.17	0.33	8.22	8.56	2.87	7.50	0.19	41.3
2017	16.64	6.09	22.73	0.33	8.33	8.65	2.92	7.71	0.22	42.2
伸び額	4.93	1.10	6.03	-0.11	1.40	1.29	0.36	4.92	0.19	12.80
伸び率	42.1%	22.1%	36.1%	-24.8%	20.2%	17.6%	14.0%	176.3%	369.5%	43.5%

* 概算医療費には訪問看護を含む。

注：四捨五入の関係で合計、差額の数字が小数点以下で合わない場合がある。以下同。

2017年度の概算医療費は42.2兆円で、2002年度以来14年ぶりの減少となった前年から一転して過去最高を記録した。2000年度からの17年間で比較すると、総額で年間12.8兆円増加したことになる。

医療費の伸び(対2000年度)の推移



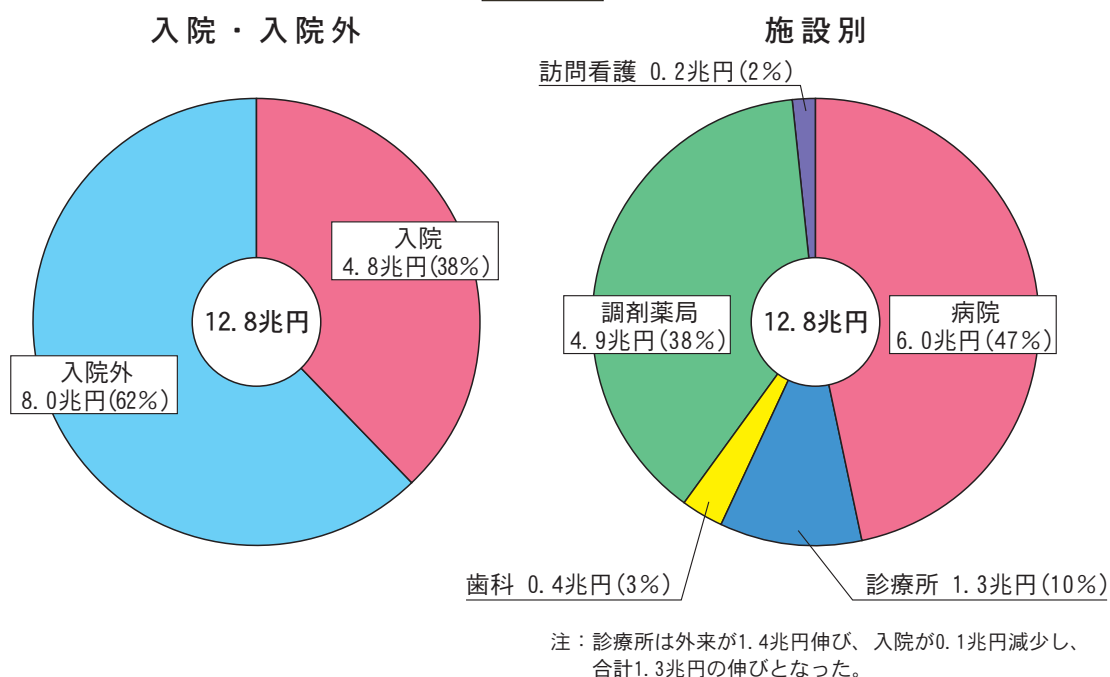
単位：兆円

年度	病院	診療所	歯科	調剤薬局	訪問看護	概算医療費
2000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2001	0.25	0.20	0.05	0.46	0.00	0.96
2002	-0.01	-0.06	0.04	0.78	0.01	0.75
2003	0.24	0.02	-0.01	1.13	0.01	1.38
2004	0.36	0.20	-0.01	1.43	0.01	1.99
2005	0.74	0.39	0.02	1.80	0.02	2.97
2006	0.67	0.41	-0.05	1.96	0.02	3.01
2007	1.09	0.57	-0.06	2.38	0.03	4.01
2008	1.34	0.60	0.01	2.65	0.04	4.63
2009	1.96	0.75	-0.01	3.08	0.04	5.82
2010	2.97	0.85	0.04	3.29	0.05	7.18
2011	3.43	0.98	0.10	3.77	0.06	8.33
2012	3.91	1.00	0.14	3.85	0.07	8.97
2013	4.26	1.06	0.16	4.25	0.09	9.82
2014	4.64	1.13	0.24	4.41	0.11	10.52
2015	5.27	1.27	0.28	5.08	0.13	12.03
2016	5.47	1.20	0.32	4.70	0.16	11.85
2017	6.03	1.29	0.36	4.92	0.19	12.80

2000年度からの医療費の伸びを施設別にみると、調剤薬局は直線的に伸び続けていたが2006年度は対前年度初めての減少となった。2007年度は増加に転じたが2005年度には及ばない。病院は2009年度より伸びが急峻となり、引き続き高い伸び率を維持している。診療所は緩やかな伸びを示している。歯科は2010年度から微増を続けている。

概算医療費の伸び(2000～2017年度)12.8兆円の内訳

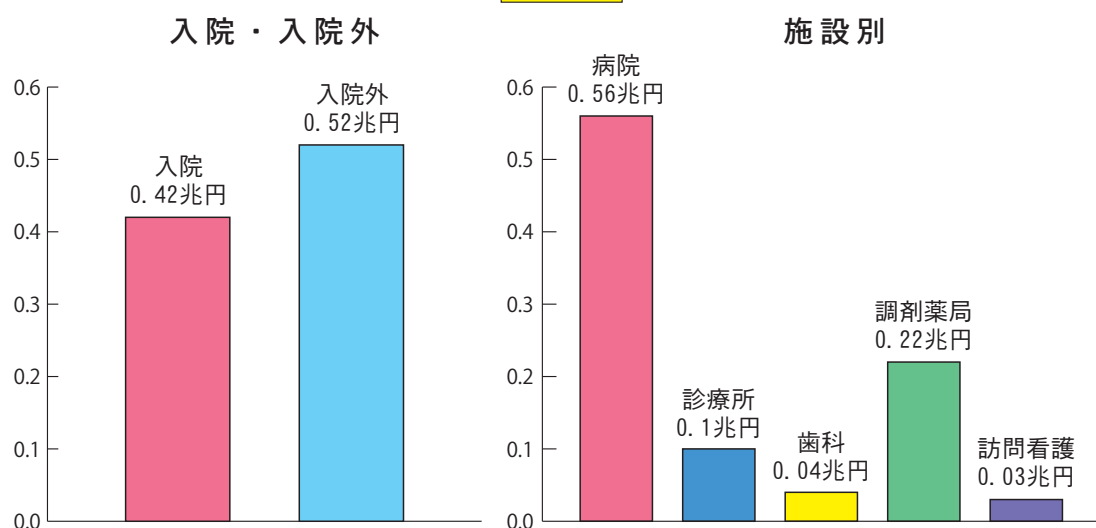
17年間



2000年度から17年間の医療費の伸び12.8兆円のうち、入院は4.8兆円で、残りの8.0兆円が入院外である。施設別にみると、病院が6.0兆円、調剤薬局が4.9兆円であり、両方で伸びの大半を占める。診療所の伸びは1.3兆円であり、歯科は0.4兆円、訪問看護の伸びが0.2兆円である。

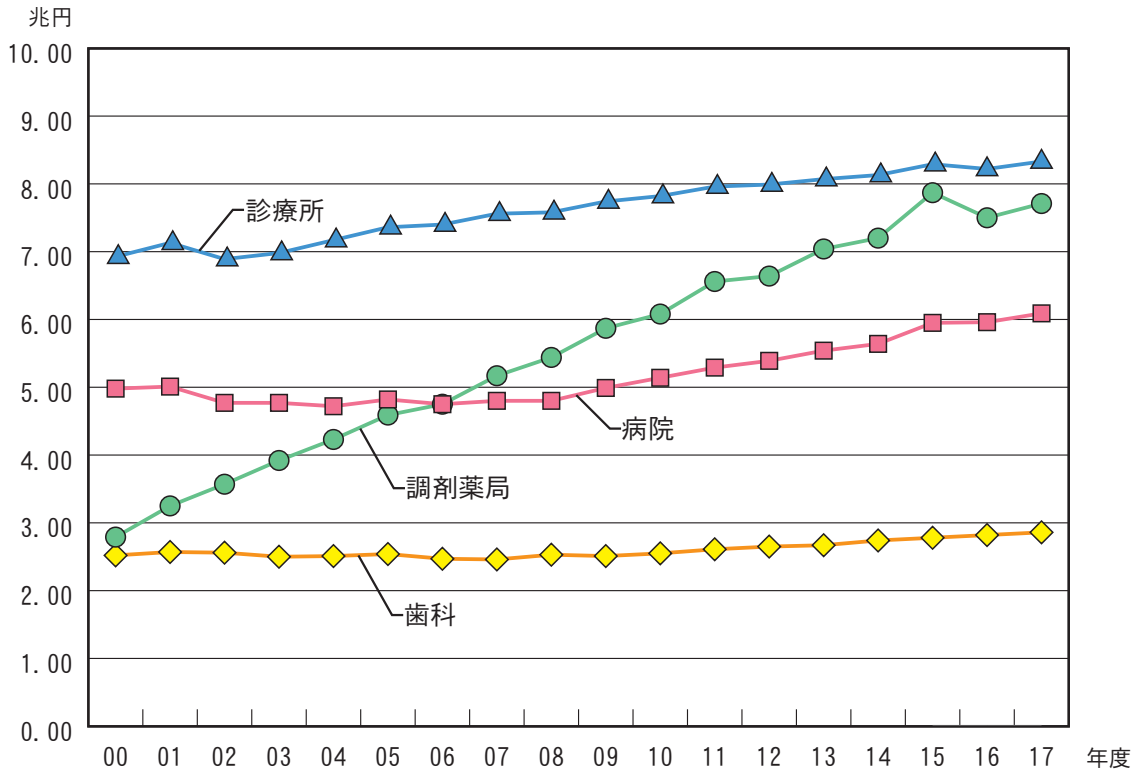
概算医療費の対前年度比較(2016～2017年度)

1年間



2017年度の医療費を2016年度と比較すると、入院は0.42兆円増加、入院外が0.52兆円の増加であった。施設別にみると、病院が0.56兆円、診療所が0.1兆円、歯科が0.04兆円、調剤薬局が0.22兆円、訪問看護が0.03兆円の増加であった。

入院外(外来・調剤薬局)医療費の推移



単位：兆円

年度	病院	診療所	歯科	調剤薬局	合計
2000	4.98	6.92	2.52	2.79	17.2
2001	5.01	7.13	2.57	3.25	18.0
2002	4.77	6.89	2.56	3.57	17.8
2003	4.77	6.98	2.50	3.92	18.2
2004	4.72	7.17	2.51	4.23	18.7
2005	4.82	7.36	2.54	4.59	19.4
2006	4.75	7.40	2.47	4.75	19.4
2007	4.80	7.56	2.46	5.17	20.0
2008	4.80	7.58	2.53	5.44	20.4
2009	4.99	7.74	2.51	5.87	21.2
2010	5.14	7.82	2.55	6.08	21.7
2011	5.29	7.96	2.61	6.56	22.5
2012	5.39	7.99	2.65	6.64	22.8
2013	5.54	8.07	2.67	7.04	23.4
2014	5.64	8.13	2.74	7.20	23.9
2015	5.95	8.29	2.78	7.87	24.9
2016	5.96	8.22	2.82	7.50	24.5
2017	6.09	8.33	2.86	7.71	25.0
伸び額	1.10	1.40	0.34	4.92	7.73
伸び率	22.1%	20.2%	13.4%	176.3%	44.8%

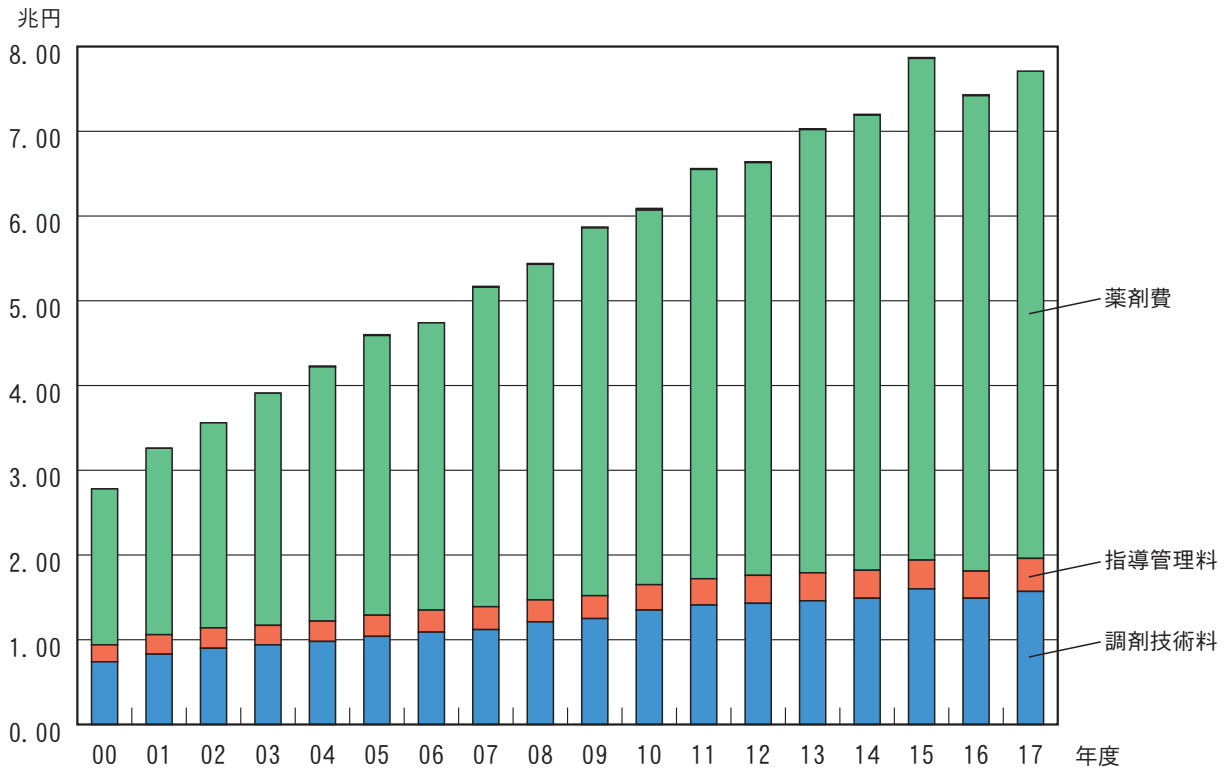
参考：1999年度

歯科 2.5兆円

調剤薬局 2.3兆円

診療所外来は徐々に増加している。病院外来は一時減少したが、2008年度より増加を続けている。歯科はほぼ横ばいから微増である。調剤薬局は2007年度に病院外来を抜き、診療所外来に迫りつつあったが、2016年度は大きく減少し、2017年度は増加したものの伸びは鈍化した。

調剤薬局医療費の推移



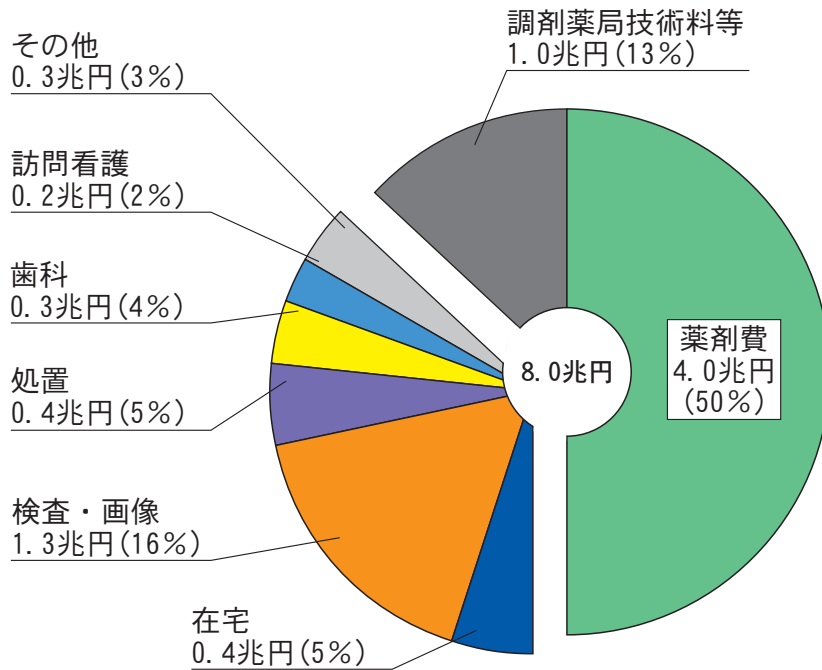
単位：兆円

年度	調剤技術料	指導管理料	薬剤費	特定保険医療材料	合計	院外処方率
2000	0.74	0.20	1.84	0.00	2.79	38.1%
2001	0.83	0.23	2.20	0.00	3.25	41.5%
2002	0.90	0.24	2.42	0.00	3.57	46.0%
2003	0.94	0.23	2.74	0.00	3.92	48.9%
2004	0.98	0.24	3.00	0.01	4.23	51.7%
2005	1.04	0.25	3.30	0.01	4.59	52.8%
2006	1.09	0.26	3.39	0.00	4.75	54.6%
2007	1.12	0.27	3.77	0.01	5.17	59.8%
2008	1.21	0.26	3.96	0.01	5.44	59.3%
2009	1.25	0.27	4.34	0.01	5.87	62.0%
2010	1.35	0.30	4.42	0.02	6.08	62.8%
2011	1.41	0.31	4.83	0.01	6.56	65.3%
2012	1.43	0.33	4.87	0.01	6.64	65.8%
2013	1.46	0.33	5.23	0.01	7.04	70.2%
2014	1.49	0.33	5.37	0.01	7.20	71.8%
2015	1.60	0.34	5.92	0.01	7.87	72.7%
2016	1.49	0.32	5.61	0.01	7.50	73.9%
2017	1.57	0.39	5.75	0.01	7.71	74.8%
伸び額	0.82	0.18	3.90	0.01	4.92	
伸び率	111%	88%	212%	564%	176%	

* 2000年度は推計値

調剤薬局の医療費の増加は主に薬剤費の増加による。薬剤費だけで17年間で3.9兆円増加している。薬剤費のみならず調剤技術料+指導管理料も1.0兆円の増加を示している。しかし、2016年度は薬剤費、調剤技術料+指導管理料ともに減少した。2017年度は再び増加した。

入院外医療費の伸び(2000～2017年度)8.0兆円の内訳



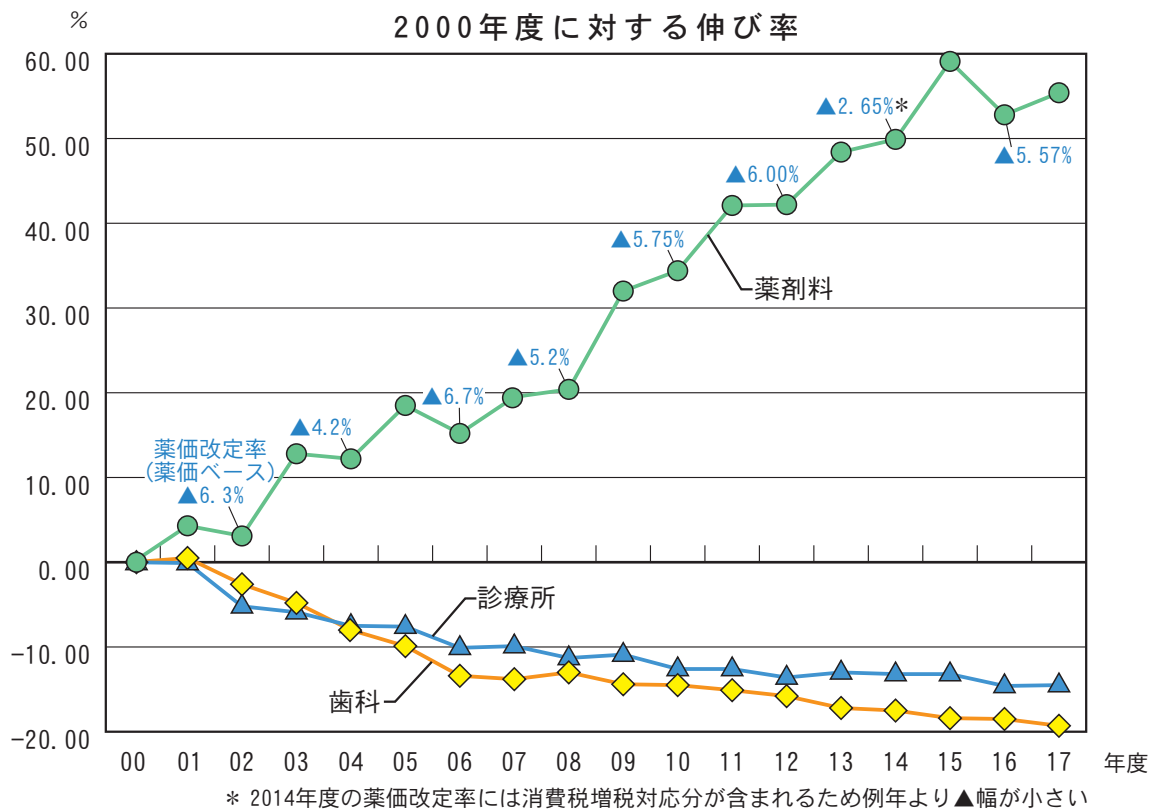
	2000年度	2017年度	伸び額
薬剤費			
外来	2.93	3.07	0.14
調剤薬局	1.84	5.75	3.90
合計	4.77	8.82	4.05
在宅医療	0.54	0.96	0.42
検査・画像診断	2.45	3.72	1.26
処置*	1.01	1.44	0.43
その他外来	4.98	5.24	0.27
歯科	2.52	2.86	0.34
調剤薬局技術料等	0.95	1.95	1.00
訪問看護	0.03	0.22	0.19
入院外医療費合計	17.25	25.21	7.96

* 処置料の大半は透析の医療費と考えられる。

	2000年度	2017年度	差額	伸び率
施設数				
: 件				
病院	9,279	8,427	-853	-9.2%
診療所	78,778	85,171	6,393	8.1%
歯科	64,040	69,246	5,206	8.1%
調剤薬局	38,393	57,223	18,830	49.0%
外来レセプト件数				
: 億件				
病院	3.23	2.63	-0.60	-18.6%
診療所	5.57	7.84	2.27	40.7%
歯科	1.64	2.31	0.66	40.5%
調剤薬局	3.25	6.70	3.46	106.4%
外来医療費				
: 兆円				
病院	4.98	6.09	1.10	22.1%
診療所	6.92	8.33	1.40	20.2%
歯科	2.52	2.86	0.34	13.4%
調剤薬局	2.79	7.71	4.92	176.3%
施設当たり外来医療費				
: 万円/月				
病院	4,476	6,019	1,543	34.5%
診療所	732	815	82	11.2%
歯科	328	344	16	4.9%
調剤薬局	606	976	370	61.1%
レセプト1件当たり医療費				
: 円				
病院	15,447	23,184	7,737	50.1%
診療所	12,425	10,621	-1,804	-14.5%
歯科	15,334	12,382	-2,952	-19.3%
調剤薬局	8,593	11,505	2,912	33.9%

入院外医療費の伸び8.0兆円の半分が薬剤費の4.0兆円であり、調剤薬局技術料等の1.0兆円と合わせると伸び全体の64%が薬剤関係によって占められる。薬剤関係以外では検査・画像診断が1.3兆円と大きく、処置、在宅の0.4兆円と続く。残りは、歯科0.3兆円、訪問看護0.2兆円である。

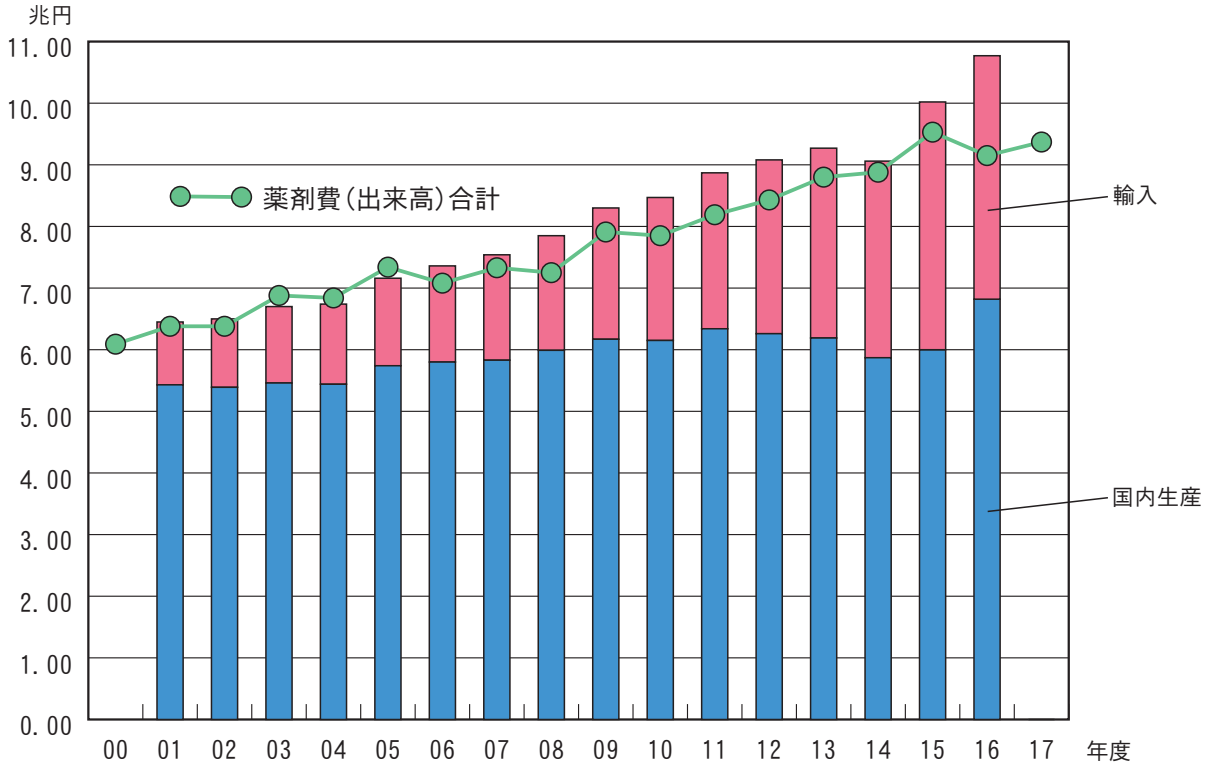
入院外レセプト 1 件当たり薬剤費・医療費の伸び率の推移



年度	レセプト 件数：億件	薬剤費：兆円			レセプト1件当たり金額：円					
		病院+診療所	調剤薬局	合計	薬剤費	伸び率	診療所医療費	伸び率	歯科医療費	伸び率
2000	8.80	2.93	1.84	4.77	5,421	0.0%	12,425	0.0%	15,334	0.0%
2001	9.02	2.91	2.20	5.11	5,657	4.3%	12,409	-0.1%	15,403	0.5%
2002	9.07	2.65	2.42	5.07	5,587	3.1%	11,781	-5.2%	14,943	-2.6%
2003	9.12	2.83	2.74	5.58	6,115	12.8%	11,686	-5.9%	14,603	-4.8%
2004	9.36	2.70	3.00	5.69	6,085	12.2%	11,498	-7.5%	14,106	-8.0%
2005	9.49	2.80	3.30	6.09	6,422	18.5%	11,478	-7.6%	13,818	-9.9%
2006	9.64	2.63	3.39	6.02	6,245	15.2%	11,172	-10.1%	13,275	-13.4%
2007	9.72	2.53	3.77	6.30	6,477	19.5%	11,193	-9.9%	13,224	-13.8%
2008	9.78	2.42	3.96	6.39	6,526	20.4%	11,023	-11.3%	13,347	-13.0%
2009	9.89	2.78	4.30	7.08	7,155	32.0%	11,073	-10.9%	13,127	-14.4%
2010	9.85	2.76	4.42	7.17	7,286	34.4%	10,857	-12.6%	13,111	-14.5%
2011	9.98	2.85	4.83	7.69	7,705	42.1%	10,863	-12.6%	13,023	-15.1%
2012	10.10	2.92	4.87	7.79	7,712	42.2%	10,735	-13.6%	12,916	-15.8%
2013	10.12	2.91	5.23	8.14	8,048	48.4%	10,811	-13.0%	12,696	-17.2%
2014	10.18	2.90	5.37	8.27	8,125	49.9%	10,788	-13.2%	12,652	-17.5%
2015	10.34	3.00	5.92	8.92	8,625	59.1%	10,779	-13.2%	12,760	-16.8%
2016	10.38	2.99	5.61	8.60	8,285	52.8%	10,609	-14.6%	12,502	-18.5%
2017	10.46	3.07	5.75	8.82	8,427	55.4%	10,621	-14.5%	12,382	-19.3%
伸び額	1.67	0.14	3.90	4.05	3005.91		-1,646		-2,815	
伸び率	18.9%	4.9%	211.8%	84.9%	55.4%		-13.2%		-18.4%	

レセプト1件当たりの金額は、診療所、歯科ともに年々減少している。一方、天井知らずの伸びを示していたがレセプト1件当たりの薬剤料は、2016年度対前年度比▲5.3%と大幅な減少を示し、2017年度は増加に転じたものの、伸びは鈍化した。

薬剤費と医薬品生産・輸入金額の推移



年度	薬剤費(出来高)				特定保険 医療材料	医薬品		
	入院	外来	調剤薬局	合計		国内生産	輸入	合計
2000	1.32	2.93	1.84	6.09	0.75	-	-	-
2001	1.27	2.91	2.20	6.38	0.76	5.43	1.02	6.45
2002	1.31	2.65	2.42	6.38	0.79	5.39	1.11	6.50
2003	1.31	2.83	2.74	6.88	0.81	5.46	1.24	6.70
2004	1.14	2.70	3.00	6.84	0.85	5.44	1.30	6.74
2005	1.24	2.80	3.30	7.34	0.84	5.74	1.42	7.16
2006	1.06	2.63	3.39	7.08	0.80	5.80	1.56	7.37
2007	1.03	2.53	3.77	7.33	0.91	5.83	1.71	7.54
2008	0.98	2.31	3.96	7.25	0.99	5.99	1.86	7.85
2009	0.82	2.79	4.30	7.91	0.91	6.17	2.13	8.30
2010	0.67	2.76	4.42	7.85	0.87	6.15	2.32	8.47
2011	0.50	2.85	4.83	8.19	1.04	6.34	2.53	8.88
2012	0.65	2.92	4.87	8.43	1.03	6.26	2.82	9.08
2013	0.66	2.91	5.23	8.80	1.08	6.19	3.08	9.27
2014	0.61	2.90	5.37	8.88	1.07	5.87	3.19	9.06
2015	0.61	3.00	5.92	9.53	1.07	6.00	4.02	10.02
2016	0.54	2.99	5.61	9.15	1.11	6.82	3.95	10.77
2017	0.55	3.07	5.75	9.37	1.23	-	-	-
伸び額	-0.77	0.15	3.90	3.27	0.48	0.55	2.78	3.33
伸び率	-58.6%	5.0%	211.8%	53.8%	63.1%	10.1%	272.3%	51.7%

薬事工業生産動態統計調査より

入院の薬剤費(出来高)は、包括医療(DPC)の拡大に伴い見かけ上減少している。外来、調剤薬局の薬剤費の増加が入院薬剤費の見かけ上の減少と相殺され、薬剤費は9兆円代で推移している。薬事工業生産動態統計調査によれば、国内生産が横ばいなのに対して輸入の薬剤費の増加が目立つ。